

導入機関は 全国300か所超 医療系ITの改革者

バス健診受付



健診RISレポート



U's Carry

車載検査画像転送用
携帯型DICOMストレージ装置

超小型医療用端末装置

各種健診バリエーションに応じた柔軟性を備えた
セミカスタマイズ・レポートシステム

株式会社ユーズテック

医療現場のIT化をサポートし 作業効率・診断能力アップ

日々進化する医療現場。それを
仕組みとして支えているのは保険医
療制度で、現在、厚生労働省は長
期計画のもと医療改革を推進してい
る。そんな中にある、「ニッポンの
医療改革を加速する」という企業
スローガンを掲げているのがユーズテ
ックだ。

「日本の保険医療制度は他国と比
較しても優れた仕組みですが、近年
の環境変化によって大きな歪みが発
生しているのも事実です。そのため
厚労省も様々な施策を打ち出して
いるわけですが、そのどれもがIT
化による情報の共有化・流通化・
効率化を方法論としているのです」と
中村淳社長。もともとIT関連
で起業し、海遊館をはじめ全国の博
物館のシステム開発を手がけた実績
を持つ。

現在は医療系ITで、特に放射
線科や画像診断部に的を絞って、導
入先医療機関の要望や様々な条件に
合わせて、顧客目線で本当に役に立
つ情報システムの提案を行っている。

例えば健診の現場。病院と同じ
システムが使われているのだが、病院
の診察とはやり方が違うため、作業
効率が悪く無駄が多かったという。
また胸部レントゲン、胃透視、マンモ
グラフィは、それぞれに医療機器メー
カーが違うことが多く、仕様や操作
方法も異なる。同社が開発した「健
診バス検査受付装置」は、その悩み
を解決し、操作者の負担軽減に貢
献している。

また院内においては、従来はフィ
ル保管庫から看護師や事務員が袋
入りのフィルムを探し出し、診察室
に運び込んでいたため、スタッフは多
忙を極めていたのだが、検査画像を
デジタル保管することで、大幅な省
力化、スピードアップ、間違いの起
りにくさはかられた。

「画像がデジタル化されることのメ
リットはそれだけではありません。
画像計測という作業において、従来
は医師がフィルムに線を引き、目視
で診察していたのですが、画像上の
計測が可能になります。その結果、
より正確な診断ができるようになり
ました」。

さらに現在では、過去の患者の画
像と比較する比較読影システムや、
離島から都会の医療機関に診断を
依頼する遠隔治療システム等にも力
を入れている。

使う人の要望を吸い上げ実現する 解釈能力が強い

同社のシステムは既に全国300か
所を超える医療機関に導入されてい
る。それぞれの病院の実情に合った
システムを提供するために、顧客の
要望を正しく聞き出すヒアリング能
力を重要視している。「相手の要望
を正確に聞き取るだけでなく、盲点
となっている本当の問題点を浮き彫
りにしていくための解釈能力が大切
なのです」と中村社長。

「医師や技師の作業上の不都合を
含め、その医療現場が抱えている背
景情報を体系的に整理できていない
と、いくら有能なプログラマーがいい

システムを作っても、役立たないこと
になってしまふのです」と言うだけ
あって、システムを作る側と使う側の
認識のズレを橋渡しする、コミュニ
ケーション力にこだわりの見える。

ユーザー視点に立った解釈能力を
軸としたシステム開発、ハードやソフ
ト作り、導入、メンテナンス等一連
の流れは、中村社長が創業当初から
抱いていた「ユーザーの視点に立った、
役に立つシステムの開発と導入を目
指す」というコンセプトに合致する
もの。今後は医療機関同士の連携に
も力を入れていきたい、と熱く語る。

主な事業内容

簡易RISシステム、
読影レポートサー
バ・システム、
MWMサーバ・シ
ステム、健診用レ
ポート、遠隔読影
システム、放射線
科受付システム、
DICOMタグ編集
システム等の開
発・提供等

中村 淳さん
代表取締役

株式会社ユーズテック

Company
Profile

住 所／〒532-0003
大阪府大阪市淀川区宮原3-3-34
新大阪DOIビル2F
設 立／平成3年2月
資本金／1,700万円
従業員／12名（平成21年1月現在）
T E L／06-6319-8787
F A X／06-6391-3300

大阪
20

http://www.usmed.co.jp/